

OPS 使用例（局麻版）

(1) 下肢静脈瘤血管内焼灼術 + 瘤切除（63才 女性）

| | | |
|------------|-----|---|
| 初回穿刺部、局麻 | OPS | 1 |
| シース挿入 | OPS | 0 |
| TLA、瘤切部局麻 | OPS | 2 |
| スタブ・アバルジョン | OPS | 5 |
| 全体評価 | OPS | 5 |

瘤切除（スタブ・アバルジョン）時に何度も痛みを訴えるため、プロポフォール 3ml を静脈注射した場合。

末梢神経の牽引、損傷が疑われ、注意が必要な症例を例示しました。

その他、ソセゴン静脈注射、笑気吸入、セボフルレン吸入、プレセデックス開始など、痛みの原因を取り除かないまま、意識レベルを下げる方法を追加した場合には OPS 5 となります。

局所麻酔ではなく、全身麻酔に近い状態と判断します。

(2) 下肢静脈瘤血管内焼灼術 + 瘤切除（80才 男性、パーキンソン病あり）

痛み刺激時と関係なく、不随意の体動を認めた。それ以外は穏やかな表情。 OPS 0

体動は無意識での疼痛逃避反応と考えます。**痛み刺激部位**とは異なる部位の体動は OPS 2 と判断しません。（頭を掻いた、腰を動かしたなど）